

# 路線バス分科会での協議状況

資料 1

- 6月の協議会再開後、路線バス分科会を5回開催し、下記3つを中心に議論を実施
  - ①公共交通ネットワークの将来像
  - ②新たな運賃体系の方向性
  - ③事業者間の連携による業務の効率化（業務の棚卸）

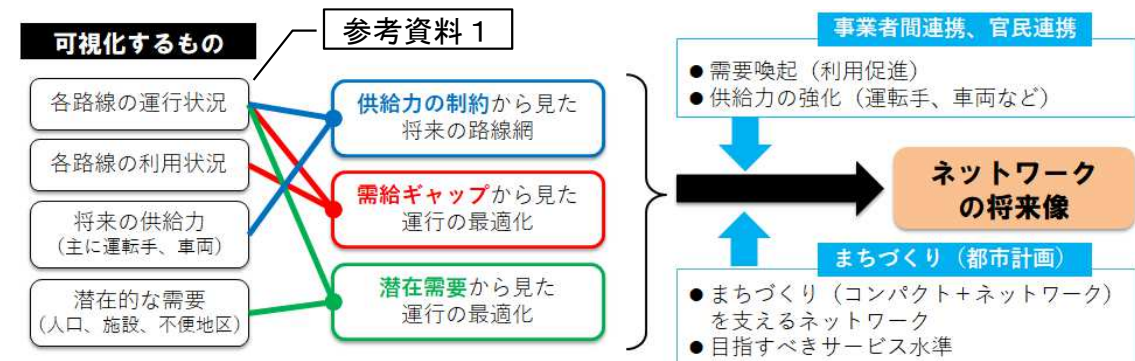
## 委員

- ・路線バス事業者／全9社
  - ・軌道事業者
  - ・学識：神田教授／呉工業高等専門学校、氏原准教授／岡山大学大学院
  - ・岡山市
- ※若手中心

分科会		主な議論
第1回	7/11	・各社が考える今後の方向性について意見聴取
第2回	7/26	・議論の進め方について (各種データの可視化など)
第3回	8/28	①公共交通ネットワークの将来像 ・現在の利用状況と運行状況の可視化 ・ <b>将来の供給力（車両・運転手）の予測</b> ・ <b>5年後、10年後の路線維持の見通し</b> ②運賃体系 ・ <b>新たな運賃体系の方向性</b> ・変更による利用と収入の見通し ③事業者間連携（業務の棚卸） ・各種業務の統合・共有化の検討
第4回	9/26	①公共交通ネットワークの将来像 ・ <b>各社から全17種類の再編案の提案</b> ②運賃体系 ・新たな運賃体系に関する意見交換 ③事業者間連携（業務の棚卸） ・ <b>業務統合等の具体案の議論</b>
第5回	10/25	・地域公共交通計画の骨子案

## 分科会で進めている検討プロセス

### ①公共交通ネットワークの将来像



### ②新たな運賃体系



### ③事業者間と官民連携による業務効率化（業務の棚卸）

